

公明党

鯨井眞佐子
京増 良男
新宅 雅子
川上 雄次

代表
質問 京増 良男

◆新年度の政治姿勢

問 新年度の重点施策は如何。

市長 平成16年度予算編成の主な重点施策は、「都市基盤の整備」としては、八街駅北側地区土地区画整理事業、八街駅自由通路等整備事業、大池調整池整備事業などを引き続き推進するとともに、道路維持補修事業、防犯灯設置事業は、予算の充実を図りました。「豊かな人間性を育む市民文化の創造」としては、小中学校の施設整備、備品整備に加え、八街中央中学校校舎改築事業を実施します。

問 防犯灯設置事業。

市長 新年度は防犯灯の設置予算を約1.7倍に増額し、器具の選定なども含め、最大限の効果が発揮できるように整備充実を図り、防犯

の向上に努めたい。

◆新年度の財政問題について

問 新年度の予算における公債費比率は、どのような状況になっているか。

市長 平成14年度決算における公債費比率は10・5％で、県内33市の中では低い方から13位にランクされており今後は市税、地方交付税等の経常一般財源の伸びが期待できないことや、現在着手している大型事業に充てた地方債償還費の増により、公債費比率が確実に上昇すると見込まれるので、慎重な財政運営に努めたい。

問 自主財源の効率的活用のため、国・県の補助金を活用する事業計画は如何。

市長 八街駅北側地区土地区画整理事業や公共下水道雨水整備事業などの投資的経費に対する補助や福祉、産業、教育など幅広い分野で国・県の補助制度を活用しています。平成16年度は、二州第一保育園建設事業、耐震性貯水槽設置事業、まちづくり総合支援事業をはじめとする各種事業について国庫補助金1億6千109万4千円、県補助金2億



▲昭和41年に建築された八街中央中学校校舎

5千666万7千円を活用することとし、それぞれ歳入予算に計上しています。

◆条例制定について

問 市道及び歩道の幅員と通行に支障のない形状を確保するため（仮称）八街市狭あい道路の整備促進に関する条例（垣根、茶の木、木の枝の伐採）を考えては如何。

市長 現在、文書をもって枝の剪定等の維持管理をしていたり協力依頼を所有者に通知しているところであり、歩行者等の安全を確保するに当たっては、今後の研究課題としたい。

◆八街中央中学校校舎改築事業について

問 地域、学校連携施設

個人
質問 川上 雄次

◆行財政改革について

問 行政改革推進をはかり、具体的な数値目標を持った「行政コスト削減の連絡会議」等の継続的な取り組みと、組織化が望まれるが如何か。

市長 行財政改革の取り組みは、現在の財政状況のもとでは避けて通れない過程です。1年程度の期間を限定して、事務事業の見直し、効率化を図り、将来の財政推計をもとに算出した削減目標を達成し当面は職員が自ら考える行財政改革を進めたい。

◆道路行政について

問 今、新たに各地の行政で見直されており、市民の満足度が高く、大変高い評価を得ているものに「すぐやる係」があります。そこで本市でも「すぐやる係」を建設部のなかに発足することを望むが如何か。

市長 現在、道路行政に関して急を要する軽易なものは、主に道路管理課で対応していますが、ご提言いただきました「すぐやる係」という名称にとられず、道路管理課における機動性をより高めるための一方策として検討課題としたい。



▲市役所玄関に設置された自動血圧計



問 市民の健康を守るために市内各地の公共施設などに自動血圧計の設置を強く望むが如何か。

市長 市民の方々が簡単に自己チェックできる一つとして血圧測定があります。今後、設置について状況を見極めながら検討したい。